35 建築時期

建築時期

●延べ床面積が最も大きな建物が完成した時期について、当てはまる番号を記入してください。

●建物が増改築されている場合は、増改築した部分としていない部分のどちらか面積の大きい方について、当てはまる番号を記入してください。

1.昭和25年以前
2.昭和26～35年
3.昭和36～45年
4.昭和46～55年
5.昭和56～平成2年
6.平成3～7年
7.平成8～12年
8.平成13～17年
9.平成18～22年
10.平成23年
11.平成24年
12.平成25年
13.平成26年
14.平成27年
15.平成28年
16.平成29年

新耐震基準

●建築時期が1～4の場合、新耐震基準を満たしているか否かについて、当てはまる番号を○で囲んでください。

1.新耐震基準を満たしている
2.新耐震基準を満たしていない
3.未確認

36 信託受益権か否か

●建物の所有は、信託受益権によるものか否かについて、当てはまる番号を○で囲んでください。

1. 信託受益権
2. 信託受益権ではない（通常の所有権）

37 建物の有形固定資産額

37-1 工場別建物の有形固定資産額(建物)

●工場敷地ごとに、所有するすべての建物の有形固定資産の帳簿価格、減価償却額、減価償却累計額を100万円単位で記入してください。

37-2 法人所有総有形固定資産額(建物)

●37-1が記入できない場合は、所有するすべての建物の有形固定資産の合計を100万円単位で記入してください。

法人所有総有形固定資産額（工場敷地にある建物）		億	百万円
	帳簿価格		百万円
	減価償却額		百万円
	減価償却累計額		百万円

34 構造		35 建築時期		新耐震基準	36 信託受益権か否か	37-1 工場別建物の有形固定資産額				
4	6.その他（　）	3	1～4の場合 →	①2 3	①②	帳簿価格	億 7 5	百万円	☑
						減価償却額	億 2	百万円	
						減価償却累計額	億 1 1	百万円	

構造		建築時期		新耐震基準	信託受益権か否か	工場別建物の有形固定資産額			
	6.その他（　）		1～4の場合 →	1 2 3	1 2	帳簿価格	億	百万円	☑
						減価償却額	億	百万円	
						減価償却累計額	億	百万円	
	6.その他（　）		1～4の場合 →	1 2 3	1 2	帳簿価格	億	百万円	☑
						減価償却額	億	百万円	
						減価償却累計額	億	百万円	
	6.その他（　）		1～4の場合 →	1 2 3	1 2	帳簿価格	億	百万円	☑
						減価償却額	億	百万円	
						減価償却累計額	億	百万円	
	6.その他（　）		1～4の場合 →	1 2 3	1 2	帳簿価格	億	百万円	☑
						減価償却額	億	百万円	
						減価償却累計額	億	百万円	
	6.その他（　）		1～4の場合 →	1 2 3	1 2	帳簿価格	億	百万円	☑
						減価償却額	億	百万円	
						減価償却累計額	億	百万円	
	6.その他（　）		1～4の場合 →	1 2 3	1 2	帳簿価格	億	百万円	☑
						減価償却額	億	百万円	
						減価償却累計額	億	百万円	
	6.その他（　）		1～4の場合 →	1 2 3	1 2	帳簿価格	億	百万円	☑
						減価償却額	億	百万円	
						減価償却累計額	億	百万円	
	6.その他（　）		1～4の場合 →	1 2 3	1 2	帳簿価格	億	百万円	☑
						減価償却額	億	百万円	
						減価償却累計額	億	百万円	

回答した内容に誤りがないか確認してください。確認後、☑ に✓印でチェックしてください。